

責任編集  
長谷川勝士  
(はせがわ 鍼灸院)

1950年生まれ・姫路市出身  
駒澤女子大学非常勤講師  
(コミュニケーション論)  
鍼灸師(社)日本鍼灸師会会員



## トイレとトイレの密な関係

今回はトイレの話です。もちろん排便・排尿の話に触れないわけにはいきません。排泄行為は自然の摂理であり、その排泄物を受け入れるトイレは文化そのものです。ま、硬いウンチ、じゃなかった、硬い話はこれくらいにしてトイレの面白エピソードの扉をノックしましょう。

### トイレには歴史が臭ってる

トイレといえばフランス、フランスといえバベルサイユ宮殿でしょう。この宮殿の主(あるじ)であるルイ16世は水洗式のトイレを使用していました。宮殿自体にはトイレはなかったそうです。では、夜毎、繰り広げられる華やかな舞踏会に集まった貴族や貴婦人たちはどこで用をたしていたのでしょうか？

実は、携帯用の陶器製オマルで「ウン」や「シヨ」をしていたのです。そう、有り余る財産と数着という衣装を持った貴族たちも、舞踏の途中、「ちよっと失礼」とか言っておこかの隅でオマルにしていたのです。

で、そのオマルの中身はどうしたか？貴族についてきた従者が宮殿のアチコチにポイと捨てた！ 数百人の貴族たちの「ウン」と「シヨ」、さらに従者たちの

「ウン」と「シヨ」もポイポイのポイ！かくしてバベルサイユ宮殿はどうなったか？建物の中庭、回廊など、足の踏み場もないほど糞尿でビッシリ…。夜毎開かれた華麗なる舞踏会は恐るべき悪臭の中で行われていたそうです。これがホントのバベルサイユ宮殿なんちゃって。

### トイレには文化が詰まってる

トイレの話で中国をはずすわけにはいかないでしょう。世界中の観光客が中国の各都市にあるトイレを見て、思わず肛門括約筋を締め直して「ウン」をガマシしてしまう迫力があります。

それが、世界共通語となっている「二ハオ・トイレ」です。ホテルや大きなレストランなどの例外を除けば、中国のトイレ(「大」の方)には個室というものが存在しないのです。ズボンを下ろし、しやがんだら相手と顔があつてしまう…。だから「二ハオ・トイレ」。

### トイレ、ビックリ大賞



コレでも相当に美しく清潔なトイレなのだ。中国の北京の有名なお土産ショップの「大」用。時々、下の溝に水が流れ、「大」を押し流す仕組みで、使用した紙は流さずに「カゴ」に入れる(!)

### トイレとトイレの知恵くさばり

新幹線のトイレには和式と洋式の両方があり、男女兼用となっていますが女性の多くは洋式を使用します。その理由は、和式には男性の「シヨ」が飛び散つて足踏み場がないから。男性の「シヨ」は、その構造から自分の意思に反してアチコチに飛び散るの

です。(これを読んでいるアナタ、そういう経験アリですよ？)

この、トイレ床汚しの問題に正面から取り組み、大いに悩み、知恵を絞り、そして素晴らしいアイデアをひねり出し、実際に「小便飛び散り現象」を解決したチームがあります。

それは、オランダのスキポール空港。「シヨ」用のトイレの床があまりにも汚れるのに業を煮やした職員一同、どうすれば床にこぼさずに小便器に命中させることができるかを真剣に考え、そして歴史に残る大発明をしたのです。そのアイデアとは…このコラムを最後まで読むと分かります。

### トイレ、ありえねえ大賞



ありえないトイレといえばやはり中国。上海の有名なレストランの男子用トイレ。珍しく個室だが、なぜか便器が二つ。双子のザ・たちなら納得か？でもちょっと！ちょっとちょっと！だあ。

### 江戸時代は糞尿の奪い合

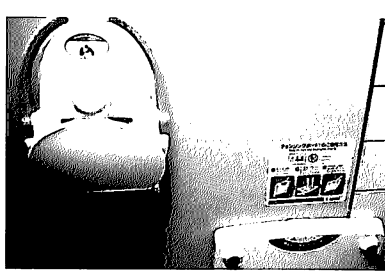
日本の場合、弥生時代の遺跡には下水



道があり、その周辺に集団で用をたす場所が造られていた形跡があります。

平安時代の貴族は桶箱というオマルを使用(おフランス同様、貴族はオマルがお好き?)。庶民は野原とか村落に作られたトイレで、江戸時代になると農作物を栽培するための肥料として糞尿を使うようになり、当然、それを商売にする人ができ、長屋などの共同便所では、商売人同士が糞尿を奪い合ったそうです。

### 世界、清潔なトイレ大賞



世界で最も美しい空港の第4位に選ばれた関空。トイレは第1位に選ばれた。さすがに美しくシメツツ無い。しかし、私が感動したのは「着替え用の踏み台」(右)が備え付けてあったこと。私はココでパッチを脱いだ。

オランダのスキポール空港の小便用の床が汚れなくなった理由。小便器に「八工」の絵を描いたのです。男は八工に当てようと夢中になって用をたしたので床は汚れなくなつたそうです。ちなみに、関空の小便器には「ダーツの的(まて)」が描かれています。